



上日 物植 鎗梅 二月 柳 柳の条柳の肩柳の縁柳の枝 藪桔

上日 山根草 三月 蕨の 蒲野の芒 山菊 山梅

上日 ハミ梅 八月 子代の桔 上ハミ梅 月楊 妃

上日 梅 上ハミ梅 柳 柳の芒 茶蔭 藤の芒

山吹 山利木の芒 上 山菜 蕨の芒 上 山踏 上

山葎の花 月 柳 梅 上 山橋 上 藪葛 蒲 上

大和 梅子 上 梅梅の實 上 孫豆 上 柳 藪

八月 薬師子 上 牙切子 益母子 上 孝子 上 つるもの

暮者 藪 上 山梨 上 柳草 上 束穂 上 せくろ

山藍の芒 上 山路子 十月 山栗 上 山葵 上 破

芭蕉 上 敷石 上 ハミの芒 十一月 藪柑子

旦 類生 柳枝貝 備後 柳の沖の芒 柳 蝶 上 柳 帆

月 柳 上 魚 上 山 上 鳥 上 胡 黎 上 柳 帆

山 鴨 上 山 葎 上 八月 柳 取 葉 柳 帆 神







曼珠沙華 十月十寸 真萩 九月十寸

穂の芒 十月十寸 真苜蓿 十月十寸

豆柿 十月十寸 松尾糸 十月十寸 图糸 十月十寸 松茸 十月十寸

草 十月十寸 間引菜 十月十寸 鞠衣 十月十寸 榎 十月十寸

上 十月十寸 正木の蔓 十月十寸 杜仲 十月十寸 万葉 十月十寸

檀 十月十寸 冬さるの實 十月十寸 油てはまひ 十月十寸 益宗竹 十月十寸 松の緑 十月十寸

松多糸 十月十寸 真菰 十月十寸 類 乾 十月十寸 松尾 十月十寸 豆餅 十月十寸

膨 十月十寸 終 十月十寸 機 十月十寸 松中 十月十寸 猿子 十月十寸

鳥 十月十寸 九 十月十寸 桑 十月十寸 鷹 十月十寸 鷹 十月十寸

尾糸 十月十寸 尚宗糸 十月十寸 松平糸 十月十寸

真鴨 十月十寸 鵲 十月十寸 貉 十月十寸 帆 十月十寸 松 十月十寸

尾糸 十月十寸 尚宗糸 十月十寸 松平糸 十月十寸

尾糸 十月十寸 尚宗糸 十月十寸 松平糸 十月十寸



布の浦はら真野まののつぎ送橋まは真白ましろのはら淡あ生ま  
 間の淡あ舞ま子の淡あ真まのあ同まわあ纏ま  
 向むかのあ槍系あ魚井原あ丹後あ待ま雞山あ真間まの  
 萩原あ真野まのあ菅原あ中あ鞠あのあ同あわあ松風あの  
 里あ尾あ松あがあ浦あ後あ松あ枕あのあ浦あはあ松あ浦あ河あ松あ  
 のあ尾あ松あ馬伏あ塚あつあとあ南あ雲あのあ浦あ秋あ後あ辞あ言あ斑あ  
 守衛あ護あ貧あ突あ召あ魔あ待あ後あ祇あ使あ真あ允あ室あ亮あ実あ

委任あ勝あ優あ全あ完あ罕あ稀あ希あ脱あ免あ遁あ迷あ悖あ惑あ殆あ  
 蹟あ交あ冬あ迂あ遠あ迂あ回あ賄あ賂あ待あ前あ撒あ教あ退あ辞あ  
 正あ実あ成あ因あ坐あ冬あ瞬あ瞳あ真あ更あ真あ益あ夙あ儲あ  
 随意あ妄あ想あ妄あ執あ輸あ杏あ跨あ起あ禁あ厭あ兒あ混あ  
 拵あ鞠あ場あ石あ前あ的あ場あ上あ真あ砂あ松あ風あ馬あ  
 案あのあ奇あ眉あのあ霜あ上あ眉あのあ雪あ上あ枕あの  
 山あ松あ柱あ松あ勝あ上あ

け

今時

懸想文

日

削掛排

口年本としふ一月十日の夕  
上も掛家毎木の枝をとりて

多づりうけて  
門とさすなり

夾種

二月

胃索

旦

夏八

夏至

口

競渡

上

削氷

七月

今朝

秋

牛

五

玄

鬼

下

弦

桂

秋

今

の

月

献

表

玄

十月

歎

定

玄

英

物

懸

の

歎

源

平

桃

五

形

茶

懸

愛

子

上

く

は

り

歎

雲

粟

の

五

又

須

葉

下

番

獨

上

だ

の

多

かり

茶

の

味

あり

類

歎

交

三

毛

生

五

怪

見

糸

月

切

杖

之

り

夏

書

上

夏

経

交

り

夏

解





富 富のたを人とのとを極くんとて競うて舟とあやしこす。すはせり母と修めて新使ありしを車とす。今ハハと競走のものとす。

士の初 初 富士の男 男 上 男の男とも云ふ。山の雪の消のり

人の形のごとく入やると云なり。て年ハ五くそ 船遊 月 附待 附待

の月 月 更替の月 更替 富士の鶴 鶴 上

形と云ふのるるとり 二夜 月 冬 冬 立 立 冬 冬

衣更 衣更 冬の月 冬の月 冬構 冬構 冬の目 冬の目

籠 籠 雪吹 雪吹 冬の目 冬の目

念雪 念雪 不香のむ 不香のむ

此本漬 此本漬 二見の夕干 二見の夕干 古曆 古曆 福美 福美

二見 二見 古曆 古曆 福美 福美 筆下 筆下 二日 二日

筆下 筆下 二日 二日 富 富 深 深 藤 藤

深 深 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤

藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤

藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤

牡丹 上 五月 藤花子 月 風蘭 七月 葡萄 八月

古伎子 上 燕尾草 上 葡萄 上 藤花子 上 燕尾草 上 葡萄 上

三三人小のひまふハ女房をこけし 葡萄 上 藤花子 上 燕尾草 上 葡萄 上

柳 上 形小 長 匏 月 芙蓉 上 佛手柑 佛甲子

一各又松ありまともふ柳ひぢぢり 佛手柑 佛甲子

冬牡丹 上 十月 冬木 冬木 佛手柑 佛甲子

冬木 上 佛手柑 佛甲子

日小樹 上 冬木 佛手柑 佛甲子

三度山の 月 冬木 佛手柑 佛甲子

柳花 上 冬木 佛手柑 佛甲子

鳥 上 冬木 佛手柑 佛甲子

柳 上 冬木 佛手柑 佛甲子

雲 上 冬木 佛手柑 佛甲子

本 上 冬木 佛手柑 佛甲子

富 上 冬木 佛手柑 佛甲子



禱の 財 器 篋 筆 格 筆 架 状 運 須 備

篋後 篋地 林 鹿 岬 潭 淵 出 溪 深 名 所 名 後

江の浦 梅 更 井の浦 笛 吹の池 不破の

関 市 波の関 船 岡山 双子山 船

坂山 梅 筆 下の山 二上 嶽 後 代の 瀬

坂 伏 里 笛 吹山 丹波 二見の浦 葦 葦

捨山 為 井 原 吹 飯の 濱 吹

上の 濱 船 井川 丹波 富士の 沼 後 布 勢の

海 産 戸の 濱 為 井 寺 二 小山 書 志

川 深 子の 里 標 二 濱 川 土 二 岸の 川 終 二

と 山 梅 楚 坂 二 池 言 耽 色 姥

老 人の 老 上 更 ねの 関 上 遠 谷の 出 上 玄 穆 人の 葦

の 深 山の 掉 震 奮 揮 俯 伏 俛 令 吹 嘘

籟 御 示 芥 塞 杜 斂 室 踏 履 徑 歴 降

我懐瞻仰わが懐にぞり 計音しよん 筆忠深ふでまこと  
 高も操能降陣たかもさうのり 殷夏湛恩おん 轉張てんちやう  
 地盤ちばん 轆轤らくろ 蹠躅しやくしやく 踏隨たふずい  
 恠こゝろ 跋扈はくこ 躑躅しやくしやく 位ゐ 躑しやく 迹あと 孫そん 白はく 押おし 約やく 雜雑 式しき 管くわん  
 奉ほう 沙しゃ 為な 葛籠くわらう 船ふね 他た 振ふる 作しやく 吹ふき 教けう  
 花浪はななみ 曆れき 閑かん 昆布こんぷ 飾しやく 小こ 殿てん 原げん 胡こ  
田作とも

芦柳あしやなぎ のごころのごころ 上上 去年こぞ と年とし  
 初はじめ 小こ 正月しんげつ 上上 日ひ 去年こぞ の雪ゆき 上上 小こ 松まつ 江え 冬ふゆ 彈たま  
 年とし の水みづ 上上 東あづま 風かぜ 氷こおり 解とく 了り 二に 水みづ 海うみ 車くるま 始はじめ  
口 依三三三ハロとろササのめと十二月ハとるゆとソひておく竹竿の先二目抄  
 上 と付て軒先におく又牛蒡芋大根小豆等の種と煮て一と一とを  
 ち徳人のけと名づく婦人ハ針の柄をこもをちつめて洗高の社へおきめ一口糸針の業を  
 とむそと針供すると云由兼ソキキ祥々又十二月ハとる年終る後  
 りのそとめと二月八日とるゆめとを  
 るらう浮りり余ハるゆゆの系とを  
 たり  
 の信あり

小こ 弓ゆみ 川がは 巨こゝろ 健けん 塞さい 上上 更さら 衣ぎ 上上 約やく 牽けん



小粉ここなのの毛の上の上 糖とう毛の上の上 芍しやく薬やく子の上の上

集しゅう菜さい上の上 木も下の園の上の上 小こ葵あひ上の上 今年ことし竹たけ

小こ玉たま簪かんざし上の上 胡こ广くわ苳そう上の上 相さう類るいのの毛の上の上 抽ちゅう金こん柑かん密みつ

梅うめのの毛の上の上 小こ萩はぎ上の上 相さう類るいのの毛の上の上 梅うめ子の上の上 仙せんのの毛の上の上

浮うき菜さい上の上 藜れい精せい子の上の上 胡こ麻ま

鬼おに灯とう上の上 牛ぎゅう蒔まき引ひ上の上 木ものの実の上の上 木も練れん

柿かき上の上 潮しほ所ところ 柳やなぎ上の上 野の間ま 柳やなぎ上の上 野の間ま

小こ萱うな上の上 圭けい剛こう子の上の上 小こ菜さい上の上 小こ葱そう上の上

胡こ麻ま州しゅう上の上 巨こ勢せ柳りゅう上の上 瓶びん子の上の上 金こん草そう

小こ三さん葉えつ上の上 小こ蓮れん華げ上の上 忍にん草そう上の上

花はな末すえのの毛の上の上 芍しやく薬やく子の上の上 芍しやく薬やく子の上の上

芍しやく药やく子の上の上 芍しやく药やく子の上の上 芍しやく药やく子の上の上

小こ船ふね上の上 寄よ居い生せい上の上 野の間ま 野の間ま

小こ船ふね上の上 寄よ居い生せい上の上 野の間ま 野の間ま

小こ船ふね上の上 寄よ居い生せい上の上 野の間ま 野の間ま







儻人轉ぬの覆翻と健盈淫毀蕪盪  
 澹と扱と樵と劇刮擦拱灼焦硬  
 彊懲應言理峯故噴粵言穉初後  
 窘困威悉殺慈屠刑弑怖躅怯言  
 唱味嗔是抑僥倖暴虐強直孤疑  
 孤尾枯蘆苛勦魁雷  
 混雜雜本のまふの雨本のまふのしんれ上

小宿割椽作越路椽作渾可九上黒  
 牡丹椽物小性人倫小使上後家上心の闇  
 ねかき  
 わんれ

吉方桐惠方参上海  
 志飾上夷廻上得鳥月戎切十  
 江のちよ掃除浪五月矣七月戎切十月  
 号版后年中のえいぎ  
 枝卷二中七戎切十月江  
 物植  
 心腹梅二中七戎切十月江



目ニ 醜味の 葵草の 咏歌よみと 雜雑 枝鳴えびす 凡凡

物へのそ えびす人傷 穰多あぐん 上上 え方あぐん 驛路えきぢ の 路ち

旅作 驛路えきぢ 上上

◎ 今時 朝賀あそび 手毬てまり 実ま 天狗宴てんぐゑん 上上 二日二日

牛まか持のね法持南北すしと富そ又あ片本をひて 天穿てんせん 上上 二日二日 蕨餅わづ餅

まき舞ふとそ節りとそ名ま家へ故と物修さるりといひて 手毬てまり 天てん

そと補て穿とてふ 鉦かね 子の 干ひ 手毬てまり 備び 手毬てまり 花はな 五五 茶茶 八八

王寺牛市おうじうし 月月 物植 手て 菊きく 楊やう 月月 備び 手毬てまり 花はな 五五 茶茶 八八

うらこく竹とてましく殺ありてむらハラうすまを後二白小まをて 照咲てりさき

あつたましとてまじとて二とす物とてまりのゆえ又小粉まをて小まをてあを 照咲てりさき

子こ 天南星てんなんせい 上上 鐵線てつせん 玉たま 上上 天井てんけい 月月 照咲てりさき

子こ 天南星てんなんせい 上上 鐵線てつせん 玉たま 上上 天井てんけい 月月 照咲てりさき

子こ 天南星てんなんせい 上上 鐵線てつせん 玉たま 上上 天井てんけい 月月 照咲てりさき

子こ 天南星てんなんせい 上上 鐵線てつせん 玉たま 上上 天井てんけい 月月 照咲てりさき

子こ 天南星てんなんせい 上上 鐵線てつせん 玉たま 上上 天井てんけい 月月 照咲てりさき

子こ 天南星てんなんせい 上上 鐵線てつせん 玉たま 上上 天井てんけい 月月 照咲てりさき

九月 傳たんと又また忌よみ月つき傳たんと法ほつ施せ餘ご鬼き七しち月げつ室むろ家か

忌よみ月つき天てん王わう寺じ一いつ乘じやう會かい九く月げつ今いま立たて忌よみ上うへ天てん智ち

皇きう神しん國こく忌よみ十二じふに月げつ寺じ雜ざ典てん主しゆ上うへ王わう台たい上うへ蓋がい

上うへ田でん相さう衣い上うへ倫りん人じん殿でん上うへ人じん尊そん主しゆ丁てい稚じ忌よみ忌よみ

名な下した陸りく女にょ支し隆りゆう穎えい睥ひ掌てう昭しやう癩らい痼ご忌よみ

傷きやう溺でく丸まる所しよ居き殿でん中ちゆう亭てい天てん井けい衣い褌ふん禪ぜん下した帶たい忌よみ

子こハは親しん父ふハはテて早さう苗めう舟しゆうととよよありあり活かつ々々財さい器き聲せい雜ざ天てん猫まう鍋かまど

天てん秤ひん持ぢ雜ざ欽てん樞しゆ上うへ欽てん靴かつ上うへ弋ぎ雜ざ鉞せん上うへ

手て爐ろ手て燭しやく雜ざ提てい樞しゆ上うへ鉞せん子こ上うへ地ち天てん

天てん手て名な手て古このの呼こゝろ坂さか後ご手て結むすのの浦うら上うへ鳥とり海かい

後ご手て間まのの関せき山さん鐵てつ拐かい嶺りやう手て麻あ身み出で

合あひのの清せい々々雜ざ捕とら照てうのの盟めい月げつ眺たう望ぼう可か寧ねい

點てん黠せつ方はう便べん雜ざ煤ばい合あひ顛てん覆ふく後ご嘲ちゆう哂しん

福ふく使し手て幹かん手て管くわん徒た搏ぱく闌らん雜ざ

天子あまの 天皇あまの 帝王ていおう 天人あまの 敵たて 牙子がし

代しろ 手て 傳つた 手て 間ま 取とり 補つ 布ふ 朝あさ 教を 支い

友名位五位 天水あまの 降お 雨り

お 時 撲玉うつき の 年とし 且かつ 何なに 月つき お 舞ま 縣あが 石い の 除よ 日ひ

踏歌あしうた 上の 舞ま 踏歌あしうた 十じゅう 四し の 女め 踏た 沫あ 雪ゆき 二に 月つき 弱よ 水みづ の 沫あ

朝あさ 雲ぐも 上の 浅あさ 子こ 表ひら 市いち 月つき 明あき 石い の 憾が 立た

青あお 簾れん 月つき 明あき 易やす 夜よ 汗あせ 汗あせ 汗あせ

扇あふぎ 上の 青あお 傘がさ 上の 昔あやめ 蒲やぶ の 興きよう 月つき 比ひ 里り の 成なり

昔あやめ 蒲やぶ の 節せつ 供く 月つき 芳あやめ 蒲やぶ の 丸まる 今いま 度たび 凡たゞ 俗たゞ の 二に

有あ 無な の 日ひ 上の 村むら 上の 帝てい の け 國くに 改か 更へ 又また 非ひ 常じょう 暑あつ 者もの 三さん 日ひ

青あお 東とう 風かぜ 上の 吹ふ 青あお 嵐あらし 上の 麦あま 田で 上の

雨あま 乞ご 上の 秋あき 近ちか 上の 秋あき 立た 月つき 秋あき の 初はつ 風かぜ 上の

怪あま 去さり 娘むすめ 七しち 月つき 朝あさ 白しろ 娘むすめ 上の 雲ぐも 浮う 上の 津つ 界かい 天あま 河が 津つ 乃なり

飛あ 多す 井い の 鞠まり 上の 扇あふぎ 置お 月つき 朝あさ 雲ぐも 朝あさ 雲ぐも 秋あき

風ウゼ上上秋あきの月つき上上秋あきの夕ゆふ上上秋あきの野の上上秋あきの水みづ

秋あきの山やま上上煉あきの夜よ上上秋あきの田た上上綾あや上上細代あじろ

折うろ上上朝寒あさむい上上秋あきの限かぎ上上厚氷あつこおり上上霰あられ上上霰あられ

秋あきの霜しも上上厚氷あつこおり上上霰あられ上上霰あられ

戦あき上上細代あじろ上上浅草あさくさ上上市いち上上青あお

青柳あおやなぎ上上藍荷あいなぎ上上麻苳あさくさ上上青芥あおがら

上上薊あざむき上上胡葱あざむき上上芦あし上上茅かや上上敷あき上上

浅草あさくさ梅うめ上上明梅あけうめ上上曙あけぼの上上他あ

香かのの花はな上上馬うま上上碎くだ上上本もと上上のの花はな上上

通草あけび上上花はな上上東茶あづま上上藍あいな上上青あお

麦あむぎ上上苳あむぎ上上蜀葵あぶら上上青あお

藜あざむき上上苳あむぎ上上蒲あし上上棟たけ上上花はな上上

花はな上上朝あさ上上葉は上上

花はな上上朝あさ上上葉は上上

芥菜の芝日池沼に生じ、葉も河邊に似て、あざいハ

栗蔕上 栗梅上 青柚上 杏子上 あら瓜上

善布上 青鬼灯上 赤子上 藍川上

麻上 麻上 麻上 考椒上 考瓜上

阿吉陀瓜上 秋七草上

青薬上 牽牛子上

あらぎ上 粟穂上 あまのひふき上

青柿上 考柿上 何里の實上 考上 考上 苗上

の志上 蓋垢上 藍の志上 芦の志上 通子上

栗引上 秋の志上 秋上 の花上 西柿上

芦の穂上 徳祭上 烏柿上 秋の志上 杖上 考上

栗上 栗上 麻上 の実上 小豆上 朝上

浅刺上 忙上 船子上 綱鳥上

月上 月上 月上 月上



朱の瑞籬 朱の華表 天の経方戸

言社 天の乙女 天の経方 捧舟 愛深詣

月 甘条貫 月 浅子相板 月 楊煥養

月 浅子四子 月 宿 月 安居 月 阿闍梨 月 尼

の 阿鼻 月 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀

法師 阿令 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀

何鼻 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀 阿字觀

行脚 松佈 出置 佛 倫 庵 主 松 丁 兄

牙 人備 高 人 師 兄 娘 嫂 網 代 守

赤子 海士 尼 體 頸 顛 助 勝 總

欠 伸 臆 垢 鴉 跣 跣 趾 菊 石 厩 所 居

殿 草 亭 白 屋 子 花 尾 新

壁 窗 害 庵 室 兩 戸 編 戸 食 祿 喜 吹

秋 月 拾 五 葵 秋 上 標 の 衣 上 昔 菖 菖 菖

日表を田 あやめ 草蒲帷子 あやめの 浴衣 あせ 汗

汗中 あせぬい 葦の衣 あさがわ 厚衾 あつあき

桑栲 あざ 紵布 あざぬい 小豆粥 あづき 麦饅頭 あま

其海苔 あまの 浅茅海苔 あさくさ 洗物 あらい 餅 もち

粉 こな 月芦粒 あし 草蒲酒 あやめ 醴 あま 朝茶の湯 あさ

麻地酒 あさ 洗飯 あらいめし 温酒 あま 烏柿 あま 麦豆 あま

新 あたら 温酒 あま 烏柿 あま 麦豆 あま

麦干菜 あま 霰海 あま 赤豆粥 あま あら あま

霰餅 あま 刺 あま 炙魚 あま 羹 あま 鹽 あま

郷食 あま 文 あま 信 あま 糖 あま 糍 あま 泡盛 あま 淡室 あま

豆腐 あま 阿刺吉 あま 海 あま 財 あま 復興 あま 刺刀 あま

釜 あま 釜 あま 鑿 あま 碓 あま 黄紙 あま 罪 あま 笈 あま

行竹 あま 唐 あま 椀 あま 椀 あま 初 あま 簀 あま 地 あま 瑠 あま 石 あま 空 あま

天原 あま 蒼天 あま 銀河 あま 油 あま 之 あま 形 あま



田路の湯川系 檉が系 白儀の二ノ渡  
有磯の濱 中 沙の檉 何吉屋の案  
何武隈川 浅妻の渡 何川  
島川 秋野の濱 栗津が原 官師  
の 杉系 畔下の原 菅屋の里 杉が基  
の 宿 荒野の御牧 何古の海 何足  
利の 潮 安核の沼 何漕の浦

婦子の浦 浅茅の浦 安宅の湊 菅  
の 寄 吾迹川 安新川 藍染川  
有明の浦 天の般石 天の檉 立丹  
赤澤山 浅羽野 熱海の温泉 芥  
の川 熱田の表 庵の座 吹石の浦  
左の沖 類 面 眺 髪 沐 上 漂  
洗 濯 浣 浴 胆 煖 熱

辞言

煨早暑天焙火燭火飲飲厭厭費費陪陪屬屬敢敢

豫豫詔詔嘲嘲侮侮欺欺條條腆腆

顯顯明明鮮鮮諱諱腆腆

遷遷前前膚膚的的淺淺滂滂溢溢悛悛

強強虐虐暴暴荒荒蕪蕪錯錯危危關關

凌凌纂纂徧徧周周洽洽遍遍普普溥溥受受孫孫昂昂

登登杠杠揄揄賈賈綠綠蒼蒼滄滄海海闕闕團團

將將白白嘖嘖齎齎憐憐恰恰粗粗略略奇奇

怪怪噫噫吁吁操操弄弄令令伴伴戮戮合合雨雨遇遇際際隘隘

凶凶惡惡醜醜蹟蹟踣踣蹶蹶躒躒躒躒躒躒躒躒躒躒

嗟嗟鳴鳴呼呼号号号号号号疾疾威威暴暴破破文文理理糾糾纒纒

不不厭厭遠遠巡巡踈踈跨跨踟踟躑躑踟踟躑躑踟踟躑躑

曳曳山山のの印印氏氏應應荅荅有有欲欲有有根根良良取取跂跂足足

祥祥乃乃冠冠辭辭之之子子丹丹吉吉天天部部見見



鼻月 鼻月雨 鼻月雪 鼻月闇

早乙女 三伏 井座

頰の細涼 臨牒娘 左

小舟 爽籟 爽氣 さらり男

清き自哉生明 哉生魄

牡丹 株茶 霜降 殘葉の宮

宵子 寒 空相 小夜時白 逆

叢 茶花市

山椒の芽 雜菜

相良布 早蕨 角杖

座福梅

梅 梅柳 梅

梅 梅柳 梅

左近の梅

角の葉の  
西行梅さいぎやうばい梅うめ草くさ上じやう早梅さうばいのの花はな

三月大根さんがつだいこん梅うめのの實み月つき蕃薔薇ばんげい上じやう比ひ早さ

苗なへ月つき林りんの花はな柘せき梅うめのの花はな上じやう鼻はな月つき躑躅しゆくしゆく上じやう鷺さぎ

接子せしこ小せう百人ひゃくにん上じやう西さい霸は王わう樹じゆの花はな上じやう早さ松そう茸じゆん

鷺さぎ上じやう月つき紅こう豆まめ上じやう厚こう紅こう上じやう早さ柘せき上じやう津つ桔け梗げう上じやう月つき

五味子ごみじ上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

三さん七しちのの花はな上じやう大だい早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

龍りゆう膽たん上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

皂さい角かく上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

柳りゅう栗りつ上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

柘せき梅うめ上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

柘せき梅うめ上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

柘せき梅うめ上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

山さん茶ちや上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

佐さ保ほ娘にやう鷹たう上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

佐さ保ほ娘にやう鷹たう上じやう月つき早さ梅うめ上じやう月つき津つ桔け梗げう上じやう月つき

入り名し... 又... 櫛... 御虫子

鳥鳳 鯖 狭牡鹿 鮭

洗鮎 鷓鴣 鷓鴣 猿 獺

小夜衛 鷓鴣 犀 猿 獺

湖 鰯 鱈 山王祭 山王宮神

鷺の森競馬 山王祭 山王宮神

三枝祭 産摩子 産摩子の御

大坂まこし 堺の天神祭 堺府祭 西院

産摩子 産摩子 産摩子

逆さ豆祭 産摩子 産摩子

糸 柳 篠 篠 浪

赤宮の繪馬 西大寺 西大寺

祭 西行忌 岩倉の柱炬 岩倉

の大念佛 西大寺 道成會 最勝講

法華教を身の内海 **相國寺懺法** 月 西園寺殿

佛ありし今 唐の **西大寺會式** 月 躰山頭陀 月

防海神山曹洞寺ありし今の頓陀周防あり **最勝寺灌頂** 十二月

あのゆり佛をりありし自存り **山門** 三寶 上 三

尾あり今 **西堂** 草堂 上 **曹洞** 藏主

**三** 三 界 上 座 禪 上 座 主 上 曹 洞 上 藏 主

形 上 **倫** 爲 師 傳 者 三 男 上 里 長 上

百廿五

座頭 上 作者 所居 座 座 上 蓮 上 尾 衣 櫛

衣 月 表 衣 櫛 龍 衣 上 早 蕨 衣 上 下 雷 上

雅 袍 公 卿 の 服 上 奴 袴 上 公 卿 の 上 白 なる 上 指 貫 上 帛 衣 の 上 曝 布

月 狭 衣 上 小 夜 衣 上 袴 着 の 上 筆 末 牛 蒡 上

梅 海 苔 上 筆 糲 上 月 砂 糖 水 上 七 月 酥 柿

酒 財 器 匙 菜 龍 上 桑 林 の 衣 上 刺 身 上 竹 葉 上

酒 財 器 匙 菜 龍 上 桑 林 の 衣 上 刺 身 上 竹 葉 上

酒 財 器 匙 菜 龍 上 桑 林 の 衣 上 刺 身 上 竹 葉 上

抗さ橋はし竿はし衡はかり帘すだれ酒さけ甕かめ鋪うす四よ  
磁ま盆ぼん提て盒げ龍りゆう教きやう教きやう盃はい羽う觴さう盞さん盞さん小せう  
雲うん微い雨う梅ばい雨う清せい天てん虫ちゆう流りゆう連れん  
精せい海かい藻そう硬ぎやう碱かん澤ざい坂さか沙さ漠ばく更ま  
科か山さん小せう夜や中ちゆう山さん鞘せう形けい山さん麓ろく崖げん  
山さん産さん寧ねい板ばん板ばん鷺さうのの板ばん鷺さうのの木も林りん每まい岩がん  
おの磯いそ甲か佐さ左さのの岡おかお佐さ野ののの岡おか肥肥佐さ野ののの岡おか

渡わたり猪ぶた野ののの渡わたり橋はし井いのの里さと橋はし猿さる澤ざいのの  
池いけおの狭さ山さんのの池いけおの橋はし岡おか鑄ちゆうのの江え橋はし匠しゆうのの  
沼ぬまおの踏ふみ蛇へびのの浦うらおの佐さ左さのの島しまお早はや子こ早はや子こ早はや子こ  
のの島しまお十じゅう女にょ島しまお橋はし多た山さんお啤ひのの橋はし橋はし猿さる橋はし  
早はやのの峯かみ我われ野のお逆さか川がわお佐さ倉くら川がわお海うみ白しろ川がわ  
お佐さ保ぼ川がわお櫻おう川がわお山さん寿じゆう田でん川がわ言言駁さく船せんのの  
噪さいのの漂ひら儼げん関かん家家寒かん閑かん陰いん嶺りゆう嶺嶺嶺嶺鬼鬼





時令

着衣始 吉書

吉書 日吉まつりめまつりめ

徳打

日吉まつり

吉書揚

日吉まつり

鏡書祝

日二平のまつり類えの祝

木地炉縁

曲水の宴

九月

九友

九月

騎射

乞巧奠

乞巧針

九月

切龍

心野踊

祇園可踊

九月

玉兔

硃打

硃打

九月

金高

硃打

硃打

九月

百廿八

菊の日

菊の着衣

錦

九月

菊の節供

菊の雛

九月

北窓塞

相火桶

九月

切岩

窮月

九月

徳打高負

本ノ芽

行幸梅

行者蒜

切生の芒

九月

相打高梅

高島綴

九月

上



黄脚野 上 京女野 上 赤木野 上 榎野 上 黄

鷓鴣 上 啄木身 上 秀万原の駒 上 木角 上 金

海角 上 祇園 上 削柳 上 北野 上 御忘

日 祇園 上 文拂 上 義我 上 短祭 上 清水地

主 祇園 上 祇園神輿 上 洗 上 祇

園會 上 長刀鉞 上 函谷鉞 上 沙流鉞 上 錦鉞 上 茶水鉞 上 月鉞 上 釜鉞 上 八船鉞 上 外山

公方神山 上 古子山 上 太山 上 山伏山 上 孟山 上 破山 上 石山 上 山部巨山 上 荒川山 上 塔柳

祇園臨時の祭 上 北

野の九度詣 上 北野 上 北野 上 北野 上 北

野の糸月 上 糸月 上 糸月 上 糸月 上 糸月

十月 甲子 上 北祭 上 菴園 上 吉利

星 上 起情 上 祈禱 上 祈念 上

祈願 上 祈願 上 祈願 上 祈願 上 祈願

行基 上 祇園 上 祇園 上 祇園 上 祇園

講講上季の御御價價經經 日たゆぐて大段差 吉祥院八

講講月月祇園一切經會會 今人有逆の奉奉のの

大奉に入ハ暇の字を云ふ云々云々 清清のの日日福福行行處處

忌忌月月客客殿殿行者行者日日法法

帰帰依依僧僧上上伽伽黎黎上上經經惟惟子子上上經經文文上上忌忌日日

上倫倫后后之之進進人人君君之之旁旁立立人人狂狂人人之之我我

士士客客止止智智樵樵夫夫漁漁夫夫階階狐狐戸戸之之我我

殿殿儀儀宸宸のの角角戸戸之之衣衣拈拈檀檀衣衣弟弟柔柔龍龍衣衣

十十表表衣衣配配錦錦繡繡之之紋紋纈纈上上脚脚律律上上

着着服服上上伽伽黎黎上上財財金金親親曲曲之之象象

交交藤藤竹竹前前のの憐憐巾巾着着宿宿篩篩煙煙心心官官地地天天金金鳥鳥

日日玉玉帳帳月月之之玉玉塵塵之之廣廣莫莫風風雲雲霧霧

衆衆雲雲母母之之母母英英之之母母涯涯岸岸崖崖名名衣衣

笠笠山山椋椋級級目目山山之之象象中中山山之之象象鳥鳥山山



花奢的歴的歴 諸餘飯諸餘飯 嚼然嚼然 倚羅倚羅

美吃令破吃口 雜雜 本債本債 兄弟兄弟

君代君代 給仕給仕 近習近習 雪の果雪の果 湯殿始湯殿始

梅柳梅柳 の方の方 夕被夕被 夕時夕時 月雪月雪

春月春月 夕涼夕涼 湯殿行湯殿行 陳雨陳雨 雪の果雪の果

霧霧 弦月弦月 行秋行秋 夕時夕時 月雪月雪

雪吹雪吹 雪作雪作 雪柳雪柳 雪簀雪簀 雪見雪見

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女

雪見雪見 雪の山雪の山 雪の心雪の心 雪の女雪の女



殊上鞠上鞞上湯桶雜地天落暉斜暉

斜暉夕頂晚暉夕日反景恒月夕夕陳雨疏黃陳雨

温泉夕夕旗雪夕夕虹名不動山不動山

本錦山後湯津山上搖の檣檣夢野夢野

汐合板紀茅木の杜杜標の沖井沖井標標

嶽嶽子枕の嶽嶽温泉嶽嶽湯板湯板

湯尾湯尾夕夕雪の関関雪の関関雪の関関遊回遊回

周上由良の門門由井由井濱濱夕端夕端雪雪

の白濱白濱雪雪雪雪雪雪濱濱遊遊

柳柳委委祖祖逝逝膝膝誓誓竈竈和和

唱唱の搖搖震震飛飛陶陶傳傳楮楮鉤鉤狀狀禪禪

後後讓讓遊遊釋釋弛弛延延眸眸豊豊春春饒饒裕裕

途途蓮蓮交交加加融融通通綽綽往往左左来来左左

雜雜夕端夕端



眇 眩

食衣 飯

目判

飯

麩類

炊湯

財器

鞠目

栓目

狹筈

眼鏡

面桶

仮面

天竺

浪男

浪

常陸島

名

女夫

池

女川

梅豆

羅

松浦

言

胸環

周運

旋回

園鞠

循

愛成

用恤

思慈

珍瞬

眇

招目

巧屬

目

雜

真途

の旅

目

志

目付

目

召仕

飯

禁

名

日夕とさしてハ  
上人偏なり

み

今時

三ツの朝

三ツの初

上 糝相

飾

上 三ツ物

の連歌

上 三物の俳諧

上 三物賣

上 俳諧

とすは三つを三物と名付くなり  
今時極名師持ちたり  
おめやさるるる

水祝

口は新年新婦を  
あはれむるを祝ふ  
とて困友

とあひせし  
今人官より  
禁せしめて終たり

水

上 水

水

水

水

短夜

水

水

水

水

水

短夜

水

水

水

水

水

日 湯ニ冷マタ  
上ニモミダク  
身ノ入  
御梳  
水始  
潤

月 三ツの花  
粟  
短  
日  
深  
空

植 緑の若菜  
水ノ菜  
未開  
二月

行幸梅  
ニ多ふ芥  
御海古

竹  
子代  
深  
山  
上  
蕪  
若

竹  
上  
水  
頭  
の花  
上  
密  
柑  
の  
花  
上  
都  
子  
上

海松  
水  
鏡  
子  
七月

水  
菱  
葉  
上  
蕪  
若  
の  
花  
上  
水  
葵  
上  
若  
葉  
菜  
上

若  
石  
の  
花  
上  
水  
梨  
上

水  
引  
の  
花  
上  
三  
度  
粟  
上  
密  
柑  
上  
深

美  
豆  
本  
上  
密  
柑  
上  
深

山  
芥  
草  
上  
三  
月  
過  
鳥  
上

水  
鏡  
上  
水  
鏡  
上

水  
鏡  
上  
水  
鏡  
上

水  
鏡  
上  
水  
鏡  
上



日 上 御園 上 神酒 上 淨食 上 寺 上 寺 上 神

子 上 日 聖 淨 齋 上 己 待 上 淨 修 法 上 月

水 取 上 淨 齋 上 己 待 上 淨 修 法 上 月

三井寺 念佛 三井寺 札 佛 身 延 山

三井寺 念佛 三井寺 札 佛 身 延 山

三井寺 念佛 三井寺 札 佛 身 延 山

三井寺 念佛 三井寺 札 佛 身 延 山

佛とゆゑ 淨堂 上 ニツの世 上 ニツの車 上 羊鹿 上 密

宗 倫 淨 齋 淨 子 身 嬰 子 蘭

人 官 者 慶 體 耳 耳 垂 珠 鳴 尾 給

身 懷 妊 居 墻 階 大 殿 鋪 屋 三 棟 四 棟

食 衣 養 衣 裳 澄 英 酒 水 滴 器

水 淨 子 多 聖 溝 鏡 梳 架 衣 架 匣 鹽

水 淨 子 多 聖 溝 鏡 梳 架 衣 架 匣 鹽

雍尾

あしづ

あしづ

地天

牝 あしづ

右明

あしづ

右雪浪

凱風

あしづ

の

皇

海

洞

の

岬

派

の

水

の

港

あしづ

渥

深

澤

の

壑

澗

深

江

那

那

澗

あしづ

水

咫

衝

石

西名

之

宰

山

の

山

之

あしづ

三

身

延

山

の

影

の

松

之

山

三

あしづ

陽

山

の

國

山

の

射

山

の

水

仲

あしづ

嶽

甲

耳

が

峯

下

の

國

峰

宮

水

あしづ

之

能

川

の

三

子

川

の

御

裳

湊

あしづ

川

宮

川

の

浦

の

岬

の

三

保

凱

あしづ

原

湊

恒

原

の

三

重

川

原

水

芝

あしづ

之

園

の

敏

子

の

浦

の

三

保

の

あしづ

濱

御

船

の

濱

の

三

嶋

の

江

道

あしづ

の

途

清

の

水

の

津

善

薩

池

の

あしづ

尾

三

樹

多

津

美

野

の

御

御





今時

新年

注連飾

上 遠呂飾

四方釋

一日早て掃法面のあはれをまじりて

相の盃

筆

上 筆を試すものがたり

春燕と戴

二月三日の日のうら

春半

上 春半の月

白玉娘

如月

上 如月の月

社日

九月 社日

社々の雨

日上の雨 社々の雨

芝能

芝能の月

鞆

上 鞆の月

潮干

上 潮干の月

歯會

上 歯會の月

辰氣橋

上 辰氣橋の月

首夏

夏朱明

上 夏朱明の月

蒸砂

上 蒸砂の月

紙帳

草蒲方刀

上 草蒲方刀の月

朱索

神多

上 神多の月

舶風

上 舶風の月

滴

上 滴の月

四糸川

原池涼

上 原池涼の月

首秋

上 首秋の月

二星

上 二星の月

織女

上 織女の月

法取

新月げつ五い月上弦じやうげん日にち月げつ七八日しちぱちにち常娥じやうが真如しんじゆの

夕ゆふ上じやう外がいの月げつ新葉しんえつ鹿しか将じやう上じやう收しゆ成せい秋しゆ社しゃ上じやう恒げん田でん初しよ四し

鹿しか将じやう上じやう收しゆ成せい秋しゆ社しゃ上じやう恒げん田でん初しよ四し

おお時とき月げつ上じやう霜しやう降かう日にち霜しやうもも至し月げつ

志し乃の以い上じやう霜しやう降かう日にち霜しやうもも至し月げつ

志し乃の以い上じやう霜しやう降かう日にち霜しやうもも至し月げつ

志し乃の以い上じやう霜しやう降かう日にち霜しやうもも至し月げつ

手て炉ろ上じやう助すけ火か上じやう霜しやう降かう日にち霜しやうもも至し月げつ

白しろ魚うい初しよ網あみ上じやう師し走す四し極ごく上じやう注しゆ連れん飾しやく巻まき

上じやう菜さい乃の以い上じやう霜しやう降かう日にち霜しやうもも至し月げつ

下しも菊きく二に白しろ玉たま桂けい枝えだ垂たれ柳りゆう上じやう白しろ藻そう日にち恒げん

富とみ稻い月げつ秋しゆ夕ゆふ楓ふう上じやう星せい花か上じやう白しろ樵せう

上じやう垂たれ枕まくら上じやう石いし楠くすのぎ上じやう櫓りゆうのの花か上じやう幣へい

卒そつ夷い上じやう白しろ鷲しゆ躰たい上じやう白しろ之の勝かち上じやう新しん葉えつ摘つみ上じやう紫むらさき

塵ちん 上 新樹しんじゆ 五 樹木のまき 上 蕃苗ばんびう 藤とう 薔せう 薔せう 上

櫻桐おうとう の花はな 上 芍薬しやくやく 上 胡蝶こてつ 上

芍薬しやくやく 上 羊蹄じやうてい 上 白及はくじく 上

紫蘇しそ 上 蓴菜じゆんさい 上 新麦しんばく 上 續じく 上

線糸せんし の花はな 上 越瓜こくわ 上 炮炙ほうし 上

子こ 紫蘇しそ の実み 上 白林はくりん 天てん 上 白芥はくがい 子こ 上

鹿鳴ろくめい 竹たけ 洪材こうざい 上 白芥はくがい 石蒜せきざん 上 石蒜せきざん 上

得とく 芝し 上 條じょう 芝し 上 秋海あきうみ 棠たう 上

愚ぐ 艸そう 上 志し のぢぢ 葦あし 上

推葺おひき 猪葺ぶし 上 松しょう 花はな 上 紫むらさき 芥がい 子こ 上

車くるま の子こ 上 霜しも 見み 葦あし 上 狸ねこ の実み 上

白菊はくぎく 上 芍薬しやくやく の根ね 上 柴しば 栗り 上 熟じやく 稀ひ 上

推おひ 柴しば の実み 上 推おひ の実み 上 新しん 乃の 柗たけ 上

新しん 極くわく 上 新しん 柗たけ 上 新しん 生せい 姜かう 上

紫根根 上 柴 上 條 上 樹 上 木 上 類生 白魚

似 上 蜂 上 鹿 上 角 上 墮 上 白 上 尾 上 鷹 上

蛭 上 四 上 子 上 田 上 長 上 鹿 上 代 上 家 上 角

諸 上 鳥 上 毛 上 か 上 ぎ 上 蟻 上 蟻 上 蟻 上

鴨 上 杓 上 鴨 上 罽 上 罽 上 雀 上 代 上 雁 上

鷓 上 鴣 上 鷓 上 鷓 上 鷓 上 鷓 上 鷓 上

霜 上 踏 上 鹿 上 鳴 上 千 上 鳥 上 志 上 鳴 上 子 上 鳥

上 孔 上 鮪 上 鹿 上 角 上 鹿 上 毛 上 筆 上

親神 芝 上 神 上 乐 上 鹿 上 走 上 鹿 上 走 上 鹿 上 走 上

新 上 宮 上 祭 上 神 上 泉 上 苑 上 祭 上 神 上 今 上 食 上

白 上 鬚 上 鬚 上 鬚 上 鬚 上 鬚 上 鬚 上 鬚 上

帳 上 志 上 祭 上 八 上 情 上 祭 上 死 上 活 上 杖 上 祭 上

四 上 宮 上 祭 上 祭 上 祭 上 祭 上 祭 上 祭 上 祭 上

比小神師の 四の宮引山 日 徳園まの 下る羽祭

白川祭 上 日 株の 芝神 上 日 株の 明祭 上 日 株の 生

姜辛 上 日 株の 株南 上 日 株の 祭 上 日 株の 志の紀祭

鹿 上 日 株の 谷 上 日 株の 杖 上 日 株の 階

香取 上 日 株の 閑野 上 日 株の 神農 上 日 株の 新嘗會

社 上 日 株の 神頭 上 日 株の 社司 上 日 株の 社家 上 日 株の 社人 上 日 株の 社

神輿 上 日 株の 神 上 日 株の 院 上 日 株の 神 上 日 株の 神 上 日 株の

神 仕 上 日 株の 神 燈 上 日 株の 神 事 上 日 株の 神 祇 上 日 株の 神

慮 神 寶 上 日 株の 神 酒 上 日 株の 神 志 上 日 株の 神 徳 上 日 株の

神 職 上 日 株の 注 連 上 日 株の 白 木 綿 扱 上 日 株の 爵 上 日 株の

積 塔 上 日 株の 聖 靈 會 上 日 株の 同 徳 樂 上 日 株の 時 宗 誦 上 日 株の

念 佛 上 日 株の 順 の 峯 上 日 株の 志 度 寺 祭 上 日 株の

聖 武 帝 伊 國 忌 上 日 株の 志 度 寺 祭 上 日 株の

諸寺の施餓鬼七月 聖靈五月 聖靈十月 聖靈十月  
 松風九月 聖一忌十月 呵十月  
 會上 十羅刹の 捕十月 新氏十月  
上 頼門上 釋上 諸上 十戒上 十界上  
上 十徳上 真言上 上人上 聖人上 出家上  
 沙弥上 沙門上 新上 費上 意上 師上 伊上 坊上  
 衆徒上 宿坊上 使僧上 首上 座上 所上 他上

寺院上 寺家上 寺内上 寺中上 寺役上 寺上  
 鐘上 須弥上 座上 在上 衆上 家滅上 食堂上  
 鉦鼓上 鐘樓上 順禮上 修上 舎上  
 利上 知上 房上 派上 時宗上 淨土上  
 淨玻璃の 洗上 杖上 錫杖上 精進上  
上 考上 常上 懺上 行上 空上 常念上 佛上  
 修上 業上 紫雲上 宿業上 榕上 臺上 橋上



新こ桑ちや新こ麦むぎ新こ麦むぎ飯い新こ

麦むぎ切きり上上塩しほ鳥い賊く新こ茹ま和あ新こ茹ま焼き

上上白しろ旗はた船ふね月つき新こ干く瓢ひょう月つき将しょう園えん油あぶら製つく七しち

新こ米まい新こ酒しゅ月つき熟じゆく柿かき月つき新こ茹ま

麦むぎ上上十じゅう夜や柿かき月つき十じゅう夜やのの行ゆき柿かき月つき新こ茹ま

姜が酒しゅ上上新こ干く大だい根こん月つき勝しょうのの餅もち月つき新こ茹ま

軍ぐん地ち花はな餅もち之の塩しほ引ひのの桂けい月つき塩しほ上上塩しほ辛から月つき塩しほ

魚う之の糗しゆ法ぽう上上塩しほ上上財さい糖とう糖とう子こ炒しょう子こ杵きね杵きね

佛ぶつ具ぐ書しよ笈じやく及及び書しよ加か木ぼく収しゆ挿さく筥こ笈じやく筥こ煨い昇しょう

承じやう壺う紙し箔ぱく燭しやく臺たい地ち祭さい冥めい也や考かう嫁よめ

露ろ液えき白しろ雲うん雨う滴てき雷らい不ふ周しゅう風ふう七しち

曜よう本ほん土ど名な鳩たう海かい嶼じゆ重じゆう波は所しよ名な白しろ山やま白しろ字じ筆ひつ

白しろ川かわのの関せき代だい白しろ鬼き女によ川かわ裁さい白しろ子このの淡たん

白しろ濱はま但た志し豆まめ機たて山やま志し突つのの浦うら志し富ふ

山<sup>やま</sup> 志<sup>し</sup>津<sup>づ</sup> 嶺<sup>ね</sup> 志<sup>し</sup>渡<sup>ど</sup>の浦<sup>うら</sup> 志<sup>し</sup>を<sup>を</sup>  
 信<sup>のぶ</sup>太<sup>た</sup> 山<sup>やま</sup> 信<sup>のぶ</sup>太<sup>た</sup>の森<sup>もり</sup> 信<sup>のぶ</sup>を<sup>を</sup>山<sup>やま</sup>  
 浮<sup>うき</sup>島<sup>しま</sup> 白<sup>しろ</sup>松<sup>しょう</sup>山<sup>やま</sup> 白<sup>しろ</sup>島<sup>しま</sup>  
 四<sup>よ</sup>極<sup>ごく</sup>山<sup>やま</sup> 四<sup>よ</sup>の宮<sup>みや</sup>河<sup>か</sup>原<sup>はら</sup> 四<sup>よ</sup>十九<sup>じゅうきゅう</sup>  
 院<sup>いん</sup> 沙<sup>さ</sup>見<sup>み</sup>板<sup>いた</sup> 多<sup>た</sup>山<sup>やま</sup> 書<sup>しよ</sup>写<sup>や</sup>山<sup>やま</sup> 磨<sup>ま</sup>  
 下<sup>した</sup>海<sup>うみ</sup>の園<sup>えん</sup> 朱<sup>しよ</sup>雀<sup>さく</sup>野<sup>の</sup> 檜<sup>ひのき</sup>原<sup>はら</sup>  
 静<sup>しづ</sup>原<sup>はら</sup> 標<sup>ひょう</sup>茅<sup>かや</sup>原<sup>はら</sup> 慈<sup>じ</sup>が園<sup>えん</sup> 指南<sup>しよんぽん</sup>  
 上<sup>かみ</sup> 標<sup>ひょう</sup>茅<sup>かや</sup>原<sup>はら</sup> 慈<sup>じ</sup>が園<sup>えん</sup> 指南<sup>しよんぽん</sup>

の園<sup>えん</sup> 清<sup>せい</sup>の里<sup>さと</sup> 忍<sup>しのぶ</sup>の池<sup>いけ</sup> 檜<sup>ひのき</sup>原<sup>はら</sup>  
 の浦<sup>うら</sup> 四<sup>よ</sup>泥<sup>ぢ</sup>の寄<sup>よ</sup> 七<sup>しち</sup>里<sup>り</sup>が溪<sup>せき</sup> 礫<sup>れき</sup>城<sup>じやう</sup>  
 島<sup>しま</sup> 檜<sup>ひのき</sup>飽<sup>ほう</sup>島<sup>しま</sup> 滑<sup>なめ</sup>石<sup>いし</sup> 城<sup>じやう</sup> 野<sup>の</sup> 立<sup>た</sup>澤<sup>さか</sup>  
 空<sup>くう</sup>屋<sup>や</sup>の空<sup>くう</sup>屋<sup>や</sup> 飾<sup>しやく</sup>磨<sup>ま</sup>の市<sup>いち</sup> 檜<sup>ひのき</sup>原<sup>はら</sup> 不<sup>ふ</sup>知<sup>ち</sup>少<sup>せう</sup>花<sup>はな</sup>  
 山<sup>やま</sup> 雙<sup>すう</sup> 道<sup>みち</sup> 標<sup>ひょう</sup> 徽<sup>い</sup> 記<sup>き</sup> 驕<sup>せう</sup>  
 効<sup>かう</sup>箴<sup>しん</sup> 滋<sup>し</sup> 桐<sup>とう</sup> 本<sup>ほん</sup>の花<sup>はな</sup> 蔚<sup>うい</sup> 叙<sup>じよ</sup> 系<sup>けい</sup> の 仍<sup>いん</sup> 荐<sup>せん</sup> 送<sup>そう</sup>  
 頻<sup>ひん</sup> 醜<sup>しゆう</sup> 博<sup>はく</sup> 濡<sup>ぬ</sup> 締<sup>し</sup> 占<sup>せん</sup> 拘<sup>く</sup> 榨<sup>さ</sup> 罽<sup>せき</sup> 寃<sup>えん</sup> 虞<sup>よ</sup>

誣毒 強噴 類聾 悟番 憶 忒  
惡密 鎮 之 定 人 之 貂 教 言 論 沈 級 差 子  
雷 袖 屏 年 然 肅 然 肅 然 肅 殺 泣  
淚 空 寒 暝 々 鮮 潔 趨 祖 遠 巡 行  
挺 然 後 言 為 明  
標 皓 皓  
濃 為 立 志 艷 祇 德 嗚 々 嗚 々  
の冠 輝 級 照 片 と いふ 冠 輝 之 鼓 鳴 の 義 々 嗚 々 嗚 々  
專 け ぬ の 物 の 冠 り こと なる 標 皓 皓 標 皓 皓  
遠 遠 嗚 々 嗚 々 嗚 々

雜 新院 主上 親王 守護 親類  
親身 衆生 順礼 上戸 出家  
使僧 上后 下可 仕主 後師 衆徒 上下 之 書 柴林 大 以  
恒 柘 白 河 之 園 寺 歸 城 志 誓  
芝 生 上 石 橋 崎 山 志 誓 志 誓  
の 松 上 柵 上 空 滴 上 志 誓 四 國





葉上被岸梅三一重梅上非梅梅梅

人丸梅上排梳上娘躑躅上平上

美人草上一夜草上一葉草上

美人草上鼓子花上未尖柳上

娘る合上子上

麦の花上光り草上稗蔴上冰室梅上

百日紅上瓢上

のそ上娘瓜上度上景首上射干上

日向葵上日車上本草上

一葉上一葉上一葉上

一葉上一葉上一葉上

一葉上一葉上一葉上

屏上楓上檜上百生上瓢上一本上

芒上万子の花上子麦取上藤上

菰草 口上 菰草之 **巨る来** 口ソウの **雉栗** 十月

山原の園ウー... **瓢の樹** 口ソハハ...

赤、実を... **榼** 口ソ... **櫛** 口ソ...

生る... **枇** 口ソ... **杷** 口ソ... **櫛** 口ソ...

**柳** 口上 **檜** 口上 **靈芝** 口上 **人來鳥** 口上

**雀** 口上 **ひたる** 口上 **引鶴** 口上

**鴨** 口上 **雛** 口上 **雀** 口上 **引鶴** 口上

**引残鶴** 口上 **鯉** 口上 **蛭** 口上 **雲雀** 口上 **鷹** 口上

**蝮** 口上 **帷** 口上 **帷** 口上 **鴻** 口上 **鴝** 口上

**鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上

**鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上

**鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上

**鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上

**鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上 **鶉** 口上



垣ぐき檜ひ皮かわ菁あし瓜うり瓜うり间ま短み蝶かま一ひと室ま  
食衣单ひと

衣もの五いつ单ひと羽は織オリ一ひと重かさね龍りゆう衣え  
七帷あきく涼しき時

重へ梅うめ一ひと重かさね綿わた十じゅう直ひ垂た垂た緋ひのの袴はかま上かみ紐ひも

上かみ閑ひがき牛ぎゅう房ぼう閑ひがき豆まめ上かみ賣う行ゆ多おほ重かさね

子こ一ひと月つき干ひ鱈たら鹿しか尾おし菜さい上かみ菱ひし餅もち三さん月つき干ひ

鱈たら十じゅう預よつつねね白しろ冷ひや汁じゅう上かみ冷ひや麦むぎ上かみ

干ひ河か豚とん上かみ白しろ長ながあありり皆みな膝ひざ白しろ一ひと在あ帳とて

五いつ月つき水みづ浄じやう膳ぜん一ひと夜よ酒さけ七しち破やぶ何なにまま冷ひや水みづ賣う上かみ

冷ひや飯い餘ひら上かみ鋪ふ鯉い漬つけ九く小こ餅もちとと漬つけ将しやう醬じやう

醋す蘸せん日ひ傘かさ結むす鈕つばね火ひ針はり火ひ針はり

桶か上かみ火ひ箸し董とう炉ろ上かみ火ひ管くだ上かみ

水みづ拍ぱく上かみ檜ひ上かみ柳やなぎ上かみ柜くわい軾しやく轆らく天てん地ち久く堅かた

冠かん辞じ之の昇のぼ天てん日ひ和わ焚たき惑まど星せい太たい白しろ

旱ひでり天てん泣な谷や風かぜ果くだ香かほ山やま日ひ泥どろ名な所ところ領りやう

巾たすき 麓ふもと 山やま ね 日ひ の 岡おか 日ひ 暮く の 墨すみ 糸いと 日ひ 置置き の  
 里さと 丹に 波なみ 日ひ 高たか 川がは 日ひ の 御ご 壽じゆ 日ひ 晚ゑん 野の  
 比ひ 叡えい 山さん 比ひ 良ら 谷が 嶺ね 廣ひろ 澤さ の 池いけ 冰ひ  
 室むろ の 池いけ 防防 麦あ の 池いけ 花はな 澤さ の 細ほそ 江え  
 比ひ 企き 谷が 谷が 橋はし 笠がさ の 浦うら 橋はし の 川がは 屏びやう  
 風かぜ が 浦うら 屏びやう 屏びやう 名な 岩いわ 非ひ 多た 山さん 左ひだり 川がは  
 怪ひろ が 島しま 郷ごう 音おん の 際さい 帽ぼう 山さん 閃ひらめ 陽やう 揚やう  
辞言

鈕ひしめ の 續つづ 韻うた 韻うた 翻ひら 永ひし 斜ひし 邪ひし の 曲まが 癖ひら  
 鬪ひしめ 礫いし 新あらた 滴ひた 日ひ 明あ 暉あ 暉あ 秀ひし 英ひし 洋やう 陶たう 博はく  
 汎ひら 宏ひろ 溥ひろ 曠ひろ 浩ひろ 廣ひろ 冲お 灘な の 晴は 乾かん  
 數かず の 浚ひ 浚ひ 漿あ 冷ひや 瓊あ 低ひ 矮ひ の 鼻はな  
 捻ひね 拈ひ 拈ひ 控ひ 停ひ 盃ひ 帥ひ 率ひ 單ひ 偏ひ 淹ひ 尚ひ 私ひ  
 窟く 窟く 潤うる 頻ひ 頻ひ 鼻はな 唇くち 壑く 壑く 田の 及ひ 升ひ の 園の  
 圃ほ 勻ひ 齋い 平へい 敵た 均ひ 等ひ 闕く 闕く 撰ひ 上の 瘳し 弓の



もろ二早のふき草の葉 **百子の池** 上 月十五

**望の影** 上 月九 **白の物** 上 月九 **世の月** 上 月九

**鏡実** 上 月九 **裳着** 上 月九 **餅糸洗** 上 月九 **餅** 上 月九

**海** 上 月九 **桃のむ** 上 月九 **餅子** 上 月九 **木** 上 月九

**蓮** 上 月九 **本昔薬** 上 月九 **木字** 上 月九 **栲** 上 月九

**藻のむ** 上 月九 **餅梅** 上 月九 **柿** 上 月九 **萩** 上 月九

**桃の實** 上 月九 **秣刈** 上 月九 **るまのむ** 上 月九 **木美蓉** 上 月九

**みまふ** 上 月九 **木犀のむ** 上 月九 **百夜** 上 月九

**木** 上 月九 **紅** 上 月九 **木** 上 月九 **藻** 上 月九

**菊** 上 月九 **百多** 上 月九 **鞠** 上 月九 **百千鳥** 上 月九

**藻** 上 月九 **餅** 上 月九 **梅** 上 月九 **萩** 上 月九

**木** 上 月九 **紅** 上 月九 **木** 上 月九 **藻** 上 月九

**菊** 上 月九 **百多** 上 月九 **鞠** 上 月九 **百千鳥** 上 月九

**藻** 上 月九 **餅** 上 月九 **梅** 上 月九 **萩** 上 月九

**木** 上 月九 **紅** 上 月九 **木** 上 月九 **藻** 上 月九

**菊** 上 月九 **百多** 上 月九 **鞠** 上 月九 **百千鳥** 上 月九

**藻** 上 月九 **餅** 上 月九 **梅** 上 月九 **萩** 上 月九



雜なり 財器 步もち 楯たて 鏃やぶ 裁の 尺さし 鬚ひげ 會あひまひ 魚いし 髯ひげ 竹たけ 杖つゑ

木し 席しき 嬰いひ 岳たけ 天地 聖しち 霜しも 霜や 所名

門もん 司し 閔げん 文ぶん 字じ 閔げん 也や の 閔げん 也や

諸しよ 裁さい 原げん 物ぶつ 部ぶ 川がわ 戊い 檣じやう 諸しよ 矣や

川がわ 但た む 山やま 桃もも 國くに の 池いけ 西せい 物ぶつ 集じふ め

野の 株か 固こ 素そ 悉しつ 最さい 世せい 貫くわん 囉ら 餽く 口くち

食じき 餐さん 唱なう 烘かう 帖てい 樓ろう 首しゆ 健けん 熟じく 漿じやう 梧こ 很げん

鈍どん 弄ろう 玩わん 林りん 火か 脆せい 監かん 眈たん 天てん 余よ の 泄しつ 洩せう

漏ろう 漂ひょう 僇れう 僇れう 負ふ 微い 需しよ 調てう 商しやう 物ぶつ 痛いた 以い 須しよ 原げん

資し 商しやう 倘たう 若じやく 基き 挽ひ 拏な 接せつ 揉じゆ 呻しん 吟いん 啞や 強きやう

記き 徒た 詒ぎ 詒ぎ 胡こ 盧ろ 心しん 正せい 疎そ 嬾らん 懶らん 稜れう 威い

才さい 良りやう の 人にん 不ふ 屑せつ 忽くつ 劇げつ 凌りやう 競けい 情じやう 陰いん 寧ねい 兮し 落らく

寂じやく 寞もく 遠えん 涼りやう 南なん 寂じやく 寞もく 悼たう 慟たう 嬾らん 懶らん 煩はん 襟きん 鬱いつ 陶たう 響きやう

應おう 最さい 崇しゆ 門もん 擇たく 筋しん 斗とう 鬱いつ 卓たく 萃すい 才さい

脱の 脱衣 雑の おの怪け 経け 妻め の家いへ 哲あつり 人ひと 備ひ 物もの

狂くるしみ 上うへ 勝かち 掃はら 百ひゃく 夜よ 盲めくら 目め 人ひと 備ひ 葉は 槿ばら 花はな

おかし  
あつり

世せ 今いま 時とき 氣き 朝あさ 聖せい 節せつ 上うへ 仙せん 木ぼく 上うへ 千せん

素す の 万まん 歳ざい 上うへ 大だい 万まん 國こく 宦くわん 田てん 若じやく 庵えん の 有あ 村むら と 子こ 孫そん の 有あ 家け の 有あ 村むら あり

節せつ 振ふる 舞まひ 上うへ 小せう 満まん 節せつ 桃もも 板いた 桃もも 符ふ 千せん

韶せう 景けい 上うへ 清せい 明めい 節せつ 他た 志し 馬ま 市いち 三さん 月げつ 小せう 滿まん 五ご 月げつ 中ちゆう

韶せう 景けい 上うへ 清せい 明めい 節せつ 他た 志し 馬ま 市いち 三さん 月げつ 小せう 滿まん 五ご 月げつ 中ちゆう

扇せん 子こ 暑しゅ 夏げ 志し 雲うん 符ふ 月げつ 小せう 滿まん 節せつ

銭せん 暑しゅ 月げつ 洗せん 車しゃ 雨う 八はち 月げつ 西せい 溪い 雨う 七しち 月げつ

施せ 令れい 燎りょう 七しち 月げつ 小せう 皤ぱ 清せい 秋しゅう 小せう 雪せつ 中ちゆう 小せう

春しゅん 十じゅう 月げつ 女にょ 清せい 秋しゅう 小せう 雪せつ 中ちゆう 小せう

寒かん 十じゅう 二に 月げつ 節せつ 季き 十じゅう 二に 月げつ 節せつ 季き 儀ぎ 寒かん 十じゅう 二に 月げつ 節せつ 季き 儀ぎ

寒かん 十じゅう 二に 月げつ 節せつ 季き 儀ぎ 寒かん 十じゅう 二に 月げつ 節せつ 季き 儀ぎ



日けのあまのねの **蝦丸祭** 口 夏の四月神の後とてあまの **石弓冬** 六月

上 三の四月神 **千歳** 十一月 神あまの **近宮** 雑 **誓文**

大山 **誓言** 上 泉涌寺園山忌 二月 西条後務 **善導**

忌月 **先帝會** 三月 防あまのケ園 **千手念佛** 二月

西条朱府川橋寺 **千園子** 二月 三井寺鬼子母神のあまの千のあまの

子とも **施餓忌** 七月 施火 上 善後寺 **童相撲**

七 東京 **泉涌寺舍利會** 九月 橋待 口 門茶よ

雪山童子 雜 經中の勿耐新 **先達** 口 上 山伏 **燒鳥** 上

説法 上 **説經** 上 **清僧** 上 **善根** 上 **善業** 上

懺法 上 **石塔** 上 **石碑** 上 **禅寺** 上 **禅林** 上

禅学 上 **禅宗** 上 **禅門** 上 **禅師** 上 **先住**

消滅 上 **迂化** 上 **施物** 上 **施行** 上 **倫人** **匠**

先妻 **聖賢** の名 **船頭** **體** **癢** 曲背 **咳**

は文字と用甲とと **夫将拙者** **園中** **列卒** **聖人**

嘯所居脊戸、序、雪隠、西淨、廁、前栽食衣

節小袖茶、時令、節、柄、舞、生菜まき、この日、合、餅、と、菜、

精飯と、互、相、あ、く、り、あ、り、青飢飯こ、揚、相、の、ま、ま、と、洗、

赤飯上、せ、じ、煎餅上、地、天、

車雨上、洒淡雨上、晴上、天上、星宿上、柵上、

頂上、井田上、瀬上、磧上、礫上、小豆上、

関上、原上、濃上、関上、の上、清水上、関上、屋上、の上、墨上、

脊の海上、千上、怛上、池上、膳上、所上、寄上、瀨上、

見の上、小川上、殺上、生上、石上、瀨上、多上、の上、韓上、柵上、

清上、が上、井上、の上、ぬ上、芥上、生上、の上、墨上、芥上、川上、瀨上、

戸上、の上、橋上、堰上、塞上、壅上、拒上、宕上、

陝上、隘上、躅上、嗔上、年上、約上、慄上、鬪上、虐上、冤上、逼上、迫上、

合上、糶上、賣上、責上、懲上、勢上、込上、清上、廉上、念上、後上、

折上、衷上、闡上、提上、消上、息上、仙上、釋上、

りき **道遥** せうやう **不塞敢** ふさいかん **石牛五丁攻** せきぎゅうごていこう

**雑** **関** せき **戒** けい **仙人** せんじん **先君** せんくん **先祖** せんぞ **世** よ

**活役** やくやく **勢揃** せいぞろい **関** せき **関** せき **関** せき **碩学** せきがく

釋 しやく

**時** **墨塗** すみぬり **鈴子** すずこ

**納涼** なつげ **相撲** すまふ **註實** しゆじつ **角** かく

**力取** ちからとり **岩竈** いわかま **角鯨** かくきゆう

**蘭** らん **煤取** すすとり **菘** す **菘** す

**蘿蔔** らぶろ **松菜** しょうさい **末黑** すゝくろ **薄** うす

**雀隱** すずめかくれ **李** すい **蘇枋** すお

**黒染** くろぞめ **松** しょう **董** とう **蘇枋** すお

**のそ** のそ **のそ** のそ **蘇枋** すお

**の子** こ **馬** うま **菘** す **菘** す

**のそ** のそ **のそ** のそ **蘇枋** すお

**の子** こ **馬** うま **菘** す **菘** す

**のそ** のそ **のそ** のそ **蘇枋** すお

透百合透はくごう 白芙蓉の敷袴あり上  
李の實りしん 上

管荊かんけい 上 忍冬にんどう 上 末摘すゑつむ 上 薏ぎ 上

茨仁あざに 上 相撲草まむま 上 雀すずめ 上 雀すずめ 上 雀すずめ 上

西瓜さいか 上 芒まき 上 芋いも 上 管かん 上 醉すい 上 楊やう 上 妃ひ 上

徹と 上 薄散はくさん 上 瓜うり 上 水仙すいせん 上 管かん 上 雀すずめ 上

菓くわ 上 鷹たか 上 鈴すず 上 出しゅ 上 月げつ 上 雀すずめ 上 雀すずめ 上

菓くわ 上 鷹たか 上 鈴すず 上 出しゅ 上 月げつ 上 雀すずめ 上 雀すずめ 上

舟ふね 上 會かい 上 任にん 上 吉きち 上 白しろ 上 馬ま 上 仲ちゆう 上 車くるま 上 任にん 上 吉きち 上 舟ふね 上

任にん 上 吉きち 上 大だい 上 掌てい 上 會かい 上 管かん 上 宮みやう 上 祭まつり 上 願ねん 上 摩ま 上 のの 上 神かみ 上 後ご 上

任にん 上 吉きち 上 大だい 上 掌てい 上 會かい 上 管かん 上 宮みやう 上 祭まつり 上 願ねん 上 摩ま 上 のの 上 神かみ 上 後ご 上

任にん 上 吉きち 上 大だい 上 掌てい 上 會かい 上 管かん 上 宮みやう 上 祭まつり 上 願ねん 上 摩ま 上 のの 上 神かみ 上 後ご 上

任にん 上 吉きち 上 大だい 上 掌てい 上 會かい 上 管かん 上 宮みやう 上 祭まつり 上 願ねん 上 摩ま 上 のの 上 神かみ 上 後ご 上

菅貫 上 菅の穂より 粘法尾 上 粘の二の字を 住

吉相撲會 九宝の市、針市、相撲十三日ありて、角紙 住者

神送 上 住吉神 菅後 上 菅の 芋茎糸 上 神輿を

水燈會 七 月 火の海船を知られかえおひき 禪訪 一年七十二 隨身 上 隨身門

皇御忌 八月 西条あま 篠掛 篠 数珠 上 数珠糸 崇徳

垂跡 倫人 菓方 菓 漁夫 漁 棄見 見 從者 從 牙

人 男 牙 女 婆 女 廢人 休支 竹肋 脈 眇 目 脛 膝 所居 所 林

養住居 洗垣 垣 透垣 透 桶篋 篋 鐔 鐔 杉窓 窓

杉の角 角 杉戸 戸 董衣 衣 月角頭 頭 巾 巾 水

干裾 裾 素袍 袍 浴 浴 恰 恰 鯨 鯨 雀 雀 雀 雀

水飯 飯 水圍 圍 杉檣 檣 睡鴨 鴨 握梨 梨

綱墨 墨 墨 墨 墨 墨 炭斗 斗 墨 墨 込 込 硯箱 箱

財器 財器 鈴 鈴 鑿 鑿 摺 摺 燧 燧 鴨 鴨 握梨 梨

来報

細紙

巨鏡

蘭笠

地天

日卵

星

新砂

埃

町名

墨田川

本流 隅田川

墨枵

川

見の里

見の里

湖

股川

尾

海

橋

飯

行

の湖

の

松

系

末

の腹

行

末

の

江

枵

針

岨

鈴

原

山

菅

の

菅

の

美

野

作

り

ま

の

神

取

管

田

の

池

入

須賀の島

硯川

橋

ま

照

の里

辞言

賺

洗

鮎

孔

空

集

の

執

蕭

驍

濯

漱

雪

吹

余

軟

携

杞

螺

拵

麻

手

櫓

礎

細

鈴

橋

磨

皮

定

の

瞿

地

饒

餒

側

看

耳

尖

荒

吹

一

乾

清

沃

の

澄

の

吹

一

乾

清

沃

の

澄

の





上<sup>り</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 桶<sup>おけ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 教<sup>しやう</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 鏡<sup>かがみ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 降<sup>くだ</sup>  
 の<sup>の</sup> 産<sup>うぶ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 麻<sup>あし</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 鑿<sup>くわ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 造<sup>つく</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 首<sup>くび</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 影<sup>かげ</sup>  
 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 山<sup>やま</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 細<sup>こま</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 手<sup>て</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 年<sup>とし</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 残<sup>のこ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 素<sup>す</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 顔<sup>かほ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 縁<sup>えり</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 肌<sup>かわ</sup>  
 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 粧<sup>まゆげ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 唇<sup>くちびる</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 鏡<sup>かがみ</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 人<sup>ひと</sup> 花<sup>はな</sup>の<sup>の</sup> 世<sup>よ</sup>  
 植物ニ  
 去の  
 分



ハ植物ニ  
被と嫌ふ

冬  
正花

帰

花

ニ

多

花

餅

ハ植物ニ  
被と嫌ふ  
食

雜  
正花

花

実

花

実

花

餅

植物ニ  
去の

花

輕

花

瓶

花

瓶

花

洛

ツハ  
二

花

塗

花

形

花

形

花

結

花

花

靴

花

非  
正花  
ルニ

雪

浪

花

麴

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花



月 絆ぎとんまき 神祇こ 秋あきの月つき 夕月ゆづき 清月きよつき

待月まちつきの霜しも 月つきの雪ゆき 月つきの氷こおり 月つき

鏡かがみの月つきの鏡かがみの舟ふね 月つきの主ぬし 月つき

あらしあらしの月つきの出で潮しほ 月つきの桂けい 月つき

光ひかりの月つきの暈うら 月つきの鬼おに 月つきの蟾かみ 月つきの若わか 月つき

と友ともの月つきの反あひがひ 月つきの都みやこ 月つきの影かげ 月つき

海うみ不ふ桂けい 壯さむらい士し さらさら男おとこ 照てる月つき



夜分 三日月あき 今日の内、朝の月、昼  
 の月、夕の月、夕月、か旬の月、十日次  
 止の月の出、二十日頃止との月の入、朝  
 日、夕附日 夕ニツ附の字、月の通ひ、古来月と用  
あまのほろもほろも、ことしなう、又ねかこあふぐ 繪  
 け、月 月、一、き、月、  
二、有、い、ぐ 月の字  
指合 三五夜、良夜、桂  
 男、玉兔、互明、待宵の影、宵闇、十六  
 夜、立、結、居、待、別、待、亥、中、平

三夜、玉、蟾、常、娥、霜、嫁、嫁 三ツハ、嫁、り、ま、り、  
を、む、い、ま、り、 盃、此  
 影、盃、の、光 盃、ハ、あ、ま、り、  
あ、ま、り、お、ち、べ、 秋、か、る  
面、の、月、と 月、華、月、夜、の、秋  
 月、夜、の、社 社、ハ、な、り、  
な、り、 部、冬 冬、の、月、寧、月  
 冴、る、月、月、氷 あ、ま、り、ね、を、り、月、の、氷、と、り、く、バ  
あ、ま、り、お、ち、べ、 月、の、雅 雪、月、花  
 繪、の、月 月、と、さ  
持、合 月、次、の、月、星、月、ね 秋、  
と、非  
 月、郷、亭、客、月、宮、殿 仙、宮、な、り、  
非、夜



形人出家後隆屋坊主おと歌山  
 立尾のひらけ肌なうらう媒悟んき口吸くうき  
 二心ふたごころ縁ゆかり諸白髪蓮の上契しよはくはつれんの上き  
 父ちちご結むすぶの神かみ懸想けんさう文賣ぶんばい水祝みづいひ  
かかみのぶ帝みかど陸りく審しん  
あまのこ願ねがほまき子こと陸りくまま仇あつくくご  
ふまろ恒とこ間ま見み  
うはせるといふなり虫むしの印いん

おりの印おりのいんおりの血ちと女の肘ひじとめりあけ二期ふたご清きよ  
うせりももまま心こころととあありりせせばば忽たちちち清きよととああん  
て中にああままるるううまま  
志をししややままりり  
 胸むねの心こころ後のちむむししううををななりりまま  
又衣を又また衣いをを脱ぬぎぎここううろろううままここががととりりのの衣い裳裳  
と取りととりりままるるううままここががととりりのの衣い裳裳  
 指切ゆびきり枝えだ切きり股また突つ尻しり目めききひひ思おもひひささまま  
年某年とし某たののめめたたるる人ひと中ちゆうのの人ひと中ちゆうののままがが又また思おもひひのの  
外外とのの他たななるるままたたあありりててそそのの思おもひひののままがが  
 とと備おぼへへ侍ざむらい背せままのの中ちゆう  
年年としここううろろうう思おもひひここるる中ちゆうののままがが  
心中心中ちゆうちゆうにに恨うらむむここののままままてて解とけけ





心二婦狂振袖 非 僂徒命飽後

家 家後字 之線内儀 内方 仇人傳姿愛

致 致 所縁腎虚夢枕 夢の言 膝枕

子枕 子 旅の夢下女風情娘

優 優 思の色 上

無常 枕食古き衾 衣 古き枕最期因

寢 寢 消了命辞世末期梓 の弓

忌日 忌 膝衣 膝 の？ ？ 香 香 經 經 惟子 惟

冥途 冥 の旅 旅 骸 骸 體 體 沐浴 沐 之途 之 漸

川 川 遠 遠 忌 忌 棺 棺 燒 燒 場 場 縛 縛 四 四 十

丸 丸 の餅 餅 巻 巻 物 物 骨 骸 骸 死 死 出 出 の山 山 死 去 去 喪 喪 表 表 入

表 表 中 中 野 野 辺 辺 送 送 人 人 魂 魂 空 空 林 林 野 野 曝 曝

無常 無 の風 風 蘭 蘭 塔 塔 亡 亡 人 人 鬼 鬼 借 借 帰 帰

塚 塚 注 注 款 款 卒 卒 都 都 波 波 の の 鬼 鬼 借 借 帰 帰

